

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 野々浜小積線の抜本的な道路改良を	野々浜小積線は住民生活道路、原子力発電所への通勤道路、復興事業に伴う大型車両道路として重要度の高い町道であります。
	先般の議会・住民懇談会で地元から道路改良の要望がありましたので、同僚議員と一緒に朝 6 時から 8 時 15 分まで現地調査いたしました。原子力発電所への通勤道路として、野々浜小積線を多くの方々が利用していることを実感いたしました。
	野々浜小積線はコバルトラインとの交差する位置にあり、大型車両は非常に走行しにくい道路です。
	県事業で野々浜、飯子浜道路災害復旧事業を実施しており、平成 33 年 3 月完成予定と聞いております。
	計画では野々浜小積線を横断するルートとなっており、町と県の協議が始まっていることと思います。
	野々浜小積線の改良工事を検討すべき時期にきていると思いますが、見解を伺います。
	(質問の相手：町長・担当課長)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 災害公営住宅等の空き家対策は	広報おながわ6月号に災害公営住宅の事前登録、
	入居者募集中が掲載されています。合計50戸が空き
	家となっており、あわせて町営住宅も入居者を募集
	しています。災害公営住宅の建設完了が平成29年度
	となりますので、空き家対策が急務です。そこで伺
	います。
	(1) 災害公営住宅の申込み状況、新たな施策を検
	討していますか。
	(2) 町営住宅は町営住宅条例、特定公共賃貸条例
	により入居者資格を定めています。震災後、女
	川町は民間アパートが減少し、女川町に住みた
	い人にとって部屋探しは厳しい状況下にありま
	す。
	被災者の移転完了の見通しが見えてきた現
	在、定住促進対策として、公営住宅入居者基準
	の見直しも検討すべきと思いますが、いかがで
	すか。
	(質問の相手：町長・担当課長)